

欧州全域を対象としたリモート社の分析調査は、プライベートと仕事の両立に大きな影響をもたらす7つの要素についてデータを収集し、評価した>

远程公司以欧洲全境为对象进行的分析调查，收集了对兼顾个人生活和工作产生巨大影响的7个要素的数据，并进行了评价。

これが20年後のデスクワーカーの姿？ ドイツは今、学校の夏休み真っ最中だ。生産性の高い働き方、そしてプライベート生活の充実もうまくこなすドイツ人と言うイメージを持つ方も多いようだが、実際はどうなのか。【シュピッツナーゲル典子(ドイツ在住?国際ジャーナリスト協会会員)】 おりしもワークライフバランスに優れた欧州の国ランキング記事を目にした。大企業から中小企業まで、国際的な給与計算、福利厚生、税金、コンプライアンスの分析調査を行うリモート社が発表した。(注?ドイツの学校夏休みは6週間。6月下旬から9月上旬にまたがり、16州により開始時期が毎年異なる) <ワークライフバランスの尺度>

这是20年后工作人员的样子?目前，德国正值学校放暑假。在很多人的印象中，德国人的工作效率很高，个人生活也很充实，但实际上是怎样的呢?【斯皮茨纳格尔典子(住在德国，国际新闻工作者协会会员)】 偶然看到了一篇关于工作和生活最平衡的欧洲国家排行榜的报道。远程公司发表了一项针对从大企业到中小企业的国际工资计算、福利、税金和法律合规的分析调查。(注:德国的学校暑假是6周。从6月下旬到9月上旬，16个州的开始时间每年不同)

欧州全域を対象としたリモート社の分析調査は、プライベートと仕事の両立に大きな影響をもたらす以下の7つの要素についてデータを収集し、評価した。1. 年次休暇 2. 最低傷病手当金 3. 出産休暇 4. 産休手当の支給率 5. 最低賃金 6. 医療制度 7. 幸福度 これらの要素から、すべての項目で上位になった国は100点満点となるよう指数を作成し、分析した結果は以下の通り。(カッコ内数値は獲得点数)

远程公司以欧洲全境为对象进行的分析调查显示，以下7个要点将对个人生活和工作的兼顾带来巨大影响。收集了关于素的数据并进行了评价。1.年假2.最低伤病津贴3.产假4.产假津贴支付率5.最低工资6.医疗制度7.幸福指数根据这些要素，将在所有项目中排名靠前的国家制定为满分100分的指数，分析结果如下

。(括号内数值为获得分数)

10位 デンマーク (68.74) 幸福度指数が7.62と高い点はよく知られている。36日の法定休暇と、給与の53%が支給される18週間の有給産休がある。

9位 イタリア (68.88) 特に家族連れに魅力的な配慮がなされている。21.7週間の有給育児休暇を取得でき、給与の80%が支給される。国民皆保険制度があり、法定休暇は年間32日。

8位 アイスランド (70.17) アイスランドほど法定休日が多い国はトップ10にはなく、年間38日の有給休暇がある。幸福度指数は7.55で、北欧で最も幸福な国のひとつだ。国営の医療制度も大きな強み。

7位 スロベニア (70.40) 特に有給休暇が充実しており、法定年次休暇は33日、母親は15週間の産休を取得でき、給与は全額支給される。しかし、他のヨーロッパ諸国と比較すると、まだ週40時間労働が義務付けられている。

6位 ポーランド (70.48) 食費、家賃、公共交通機関など生活費用が他の国と比較して安価。20週間の有給育児休暇があり、給与の100%が支給される。法定休暇の最低日数は33日。

#### 第10位 丹麦

(68.74)，众所周知丹麦的幸福指数高达7.62。有36天的法定休假和能得到工资53%的18周带薪产假。

第9位 意大利(68.88)，对以家庭为单位的劳动者特别有魅力。可以获得21.7周的带薪育儿休假，可以得到工资的80%。有全民保险制度，法定休假一年32天。

#### 第8位 冰岛

(70.17)，前十名中没有像冰岛这样法定假日多的国家，一年有38天带薪休假。幸福指数为7.55，是北欧最幸福的国家之一。国营医疗制度也是一大优势。

#### 第7位 斯洛文尼亚

(70.40)，特别是带薪休假非常丰富，法定年休假为33天，母亲可以休15周的产假，而且还可以得到全额工资。但是，与其他欧洲国家相比，仍然实行每周工作40小时的义务制。

#### 第6位 波兰

(70.48)，波兰的伙食费、房租、公共交通等生活费用都比其他国家便宜。有20周的

带薪育儿假，支付工资的100%。法定休假最少天数为33天。

5~1位は？

第5~第1位是？

5位 フランス (71.36) 主に法定休日が36日あることと、最低賃金が時給10.57ユーロであることから5位となった。2017年より、従業員は勤務時間外に業務上のメールを送ったり、返信したりしてはいけない、または拒否できると定めている「Right to disconnect」が導入された。

第5位法国(71.36)，主要是法定假日有36天，最低工资每小时10.57欧元，所以排在第5位。从2017年开始，公司导入了“Right to disconnect”制度，规定员工有权利拒绝在工作时间以外发送、回复业务邮件。

4位ドイツ (73.69) ワークライフバランスについてはすでに多くのことが行われているが、まだ改善の余地があるようだ。法定休暇が30日のドイツは、他の欧州国より比較的少ない。産休は14週間と短い、少なくとも有給である。失業率が低く、病気が長引いた場合にも賃金の70%が支払われるなどの利点もある。幸福度では、7.16ポイントと世界比較で13位にとどまっている。

第4位德国(73.69)，关于工作与生活的平衡，虽然已经出现了很多问题，但似乎还有改善的余地。法定休假为30天的德国比其他欧洲国家要少。产假虽然只有14周，但至少是带薪的。失业率低，如果病情延长，也可以得到工资的70%等优点。在幸福指数方面，韩国以7.16分排在世界第13位。

3位ノルウェー (74.80) 第3位を獲得したのは、何よりもノルウェーの医療システムのおかげ。他の北欧諸国と同様、ノルウェーの幸福度は非常に高く、指数7.39で、今回のトップ10では2位にランクインしている。

第3位挪威

(74.80)，第3位得益于挪威的医疗系统。和其他北欧国家一样，挪威的幸福指数非常高，指数为7.39，在这次的前十名中排名第二。

2位スペイン (75.39) スペインの労働文化は、仕事よりも私生活を優先させる方向にある。有名な芸術家、おいしいタパス、華麗な建物のあるこの国では、労働者に33日の法定休暇と完全有給産休16週間が与えられる。最低賃金は現在、時給7.82ユーロ。ちなみに、駐在員の多い都市ランキングでは、バレンシアとアリカンテが1位と2位を占めている。一方で近年、若者の高い失業率が問題となっている

。

第2位西班牙(75.39)，西班牙的劳动文化倾向于私生活重于工作。在拥有著名的艺术家、美味的tapas、华丽的建筑的这个国家，劳动者有33天的法定休假和16周的完全带薪产假。目前最低工资为每小时7.82欧元。顺便一提，在常驻人员最多的城市排名中，瓦伦西亚和阿利坎特分列第1、2位。另一方面，近年来年轻人的高失业率也成为问题。

1位ルクセンブルク (83.47) 欧州で最も小さな国のひとつが1位になった。ルクセンブルクは、ほぼすべてのカテゴリーで高いスコアを獲得。また、20週間の産休があり、その間は給与の100%支給。最低賃金の点でも優れており、ここでは時給13ユーロあるいはそれ以上を手にすることができる。幸福度指数は、7.32で第3位。 <仕事でどれだけ幸せを感じられるか？> ここでドイツの現状を探ってみた。「プライベート時間を大切にす国」というレッテルが貼られているものの、実はそうでないことも多いようだ。

第1位卢森堡(83.47)，欧洲最小的国家之一占据了首位。卢森堡在几乎所有的分类中都获得了很高的分数。另外，还有20周的产假，期间支付100%的工资。在最低工资方面也很出色，在这里每小时可以拿到13欧元甚至更高。幸福指数为7.32，排名第三。“工作能让你感到多么幸福？”在这里探究了德国的现状。虽然被贴上了“重视生活和时间的国家”的标签，但实际上并非如此的情况也很多。

連邦統計局によると、ドイツの被雇用者の平均労働時間は週34.8時間。EUの比較では、ドイツは週当たりの労働時間が最も短い国のひとつだ。またベルテルスマン財団の調査では、従業員は平均してより少ない労働時間を希望しているようだ。

。

据联邦统计局统

计，德国雇员的平均工作时间为

每周34.8小时。与欧盟

相比，德国是每周工作时间最短的国家之一。另外，贝塔斯曼基金会的调查显示，员工平均期望更少的工作时间。

調査を監修した同財団マニエラ・バリシッチ氏によると、「労働時間については男女間で希望と現実の間に大きな隔りがある。平均すると、男性は週に41時間働いており、女性より9時間多く働いている」。

负责监督调查的该财团的曼努埃尔·巴里西奇表示，“对于工作时间，男女之间期望和现实之间存在很大差距。平均来说，男性每周工作41小时，比女性多工作9小时

。

さらに、「働きすぎ」と答える男性はかなり多く、同時に「もっと働きたい」と考える女性も男性より多いという男女間の差が見られる。今さら言うまでもないが、特に母親は、子育てと家事の狭間で思うように働けない人が多い。その理由を「子供ではなく、保育施設がない、あるいは費用がかかりすぎる点だ」と、バリシッチ氏は指摘する。

“而且，回答“工作过度”的男性相当多，同时“想多工作”的女性也比男性多，可见男女间的差异。事到如今就更不用说了，尤其是母亲，很多人在育儿和家务的夹缝中无法随心所欲地工作。巴里西奇指出，其原因“不是孩子，而是没有保育设施，或者费用太高”。